



日本は梅雨。ポーポキは、濡れるのが嫌い。でも、雨が降ると、植物が元気になり、花を咲かせたりするのは大好き。

Popoki's Hot News!



ポーポキTシャツ!

ポーポキのTシャツは大人のサ
新たにつくりました。今四の色は、
トイエロー、ライトブルー、グ
レですが、以前からの子どもサイズ
1500円で販売中!



イスがなくなったので、
ライトパープル、ライ
ー、白。サイズはSS-LL
は残っています。一枚



「一言の平和」コーナー

ポーポキのお友だちのしろかちゃんから、届いた平和:

「幸せが みんなに降りそそぎますように！」

あなたは今日、どんな「平和」に出会いましたか? ぜひお聞かせください。

ポーポキのメール [ronniandpopoki \(at\) gmail.com](mailto:ronniandpopoki(at)gmail.com) !



もうすぐエイスフェスタ!!!!

7月7日 11:00-16:00 テュオこうべ (JR 神戸駅地下)

ポーポキはフースと展示、

そして 11:30 - 11:45 まではステージ企画も!

スタッフ集合:10:30

お待ちしております!

*このイベントの準備のために助成金をいただきました



ご協力、ありがとうございます!

「ポーポキ友情物語 東日本大震災で生まれた私たちの平和の旅」

(エピック 2012)

はお陰様で好評です。ぜひ広めていただきたいと思います!

*神戸YMCAでも販売していますよ!

本については、<http://popoki.cruisejapan.com/monogatari.html> をご参照ください。

灘チャレンジでのポーポキぷろじえくと～つなげる～

日時:2012 年 6 月 3 日(日)10:00 ～16:00

場所:都賀川公園

報告者:谷口太郎(神戸大学国際協力研究科修士課程一年)

皆さん、こんにちは！！今日は私が灘チャレンジでのポーポキ・ピース・プロジェクトの活動の様子、そして、それに対する反応について報告します。

まず灘チャレンジって何でしょう？私が見た限りでは楽しいお祭りに見えたのですが...



実は、「灘チャレンジ」は 1995 年、つまり今から 17 年前の阪神・淡路大震災をうけて、「復興祭」としてはじまったものだったのです。さらに 2008 年、今から 4 年前にこの祭りがおこなわれている都賀川でおきた都賀川水難事故も含めて、震災や事故を忘れないように、という意味をもっているお祭りなのです。このお祭りは今回で 18 回目を迎えるのですが、開始当初から神戸大学の学生ボランティアと地元住民の方々による実行委員会形式で運営されているのです。

たくさんの屋台やお店が並んでいる中、私たちはポーポキ T シャツや、バッジ、絵本を紹介して売っていました。他にも今日の平和の一言を書いてもらったり、ステージで演劇をしたりしました！

私が特に感動したのは、ステージで演劇をした時です。劇の中の登場人物たちが困っている所に何人かの子供たちが手を挙げてアドバイスをしてくれたのです。そのアドバイスが、とてもとても純粋だったことに感動しました。子供たちと話すと、自分もむか～しは考え付いたかもしないですが、今となっては到底考えつかないほどに斬新で純粋な答えが返ってくることがあります。そんな時、私は、子供たちの可能性を感じます。まだ、ほとんど真っ白で、どんな色にもそまってゆけるのだなと感じます。もしできることなら、この灘チャレンジや私たちのポーポキ・ピース・プロジェクトがその真っ白な子供たちに優しい色を添えられたら、未来に繋



ぐことができたと思います。



そしてもう一つ、私たちはポーポキ友情物語の大きな布をお店とは別に展示していました。そして、大人から子供まで皆さんに絵を描いてもらいました。さらに！その布は大地震の傷跡が今も残る東北や、いろいろな所へ旅する予定です！そのことを伝えると、ある人は「ハート」や「愛」を届けたい、ある人は「笑顔」を届けたいと、そしてある人は「とりあえず絵を描きたい」と！（笑）とにかく、ここでは子供も大人も純粋な気持ちを出してくださったのではないのでしょうか。絵を描くということ

は気持ちを出しやすいのでしょうかね。私は、なかなかはっきり「愛」と表現することができないので、みなさんが自分の気持ちをストレートで真ん中に布に投げかけている様子を見て、「これだけ直球ならどんな遠くにでも届くかもしれない」と思いました。どうか、みんなのこの気持ちが、いろんな場所に繋がりますように！！



ポーポキの新しい友だち、タイキくん！

灘チャレンジでポーポキは新しい友だちができました。名前はタイキくんです。タイキくんの写真 →

タイキくんがポーポキの物語をつくってくれました。日英（ローマ字とひらがな）で描いてくれました。



① Popoki



② One day, there was a cat.



③ The cat met a mouse.
"Let's be friends!"

④ The cat and mouse said, "Really!" and "Yes!"
by Taiki



タイキくんも登場する！
ポーポキの新しい動画～「ポーポキ on stage! 灘
チャレンジ2012」ぜひご覧くださいね。

ポーポキのURLでご覧できます！

<http://popoki.cruisejapan.com/monogatari.html>

灘チャレンジで新しいポーポキグッズが登場しました。でも、すぐに完売！



ポーポキ友情物語活動で知り合った岩手県大槌町のお友だち。
今年初めに AMDA おおつち健康サポートセンターを設立し、コミュニ
ティ形成活動中。お裁縫などがとっても上手な方もいらっしゃいま
す。ちょうど新しいポーグッズが欲しかったので、お願いしてみ
ました。そして、左のストラップをとりあえず4個ほどつくってく
れました。現在、双方にとってベストの方法をさがりながら継続を図っています。
楽しみにしてくださいね！！

<http://popoki.cruisejapan.com>
[ronniandpopoki \(at\) gmail \(dot\) com](mailto:ronniandpopoki(at)gmail(dot)com)

ポーポキ at こどもの里 2012

Mayu にゃん、Suzanka にゃん

今年も、私たちポーポキメンバーは留学生を含む神戸大学の大学院生たちと大阪市の西成区にある「こどもの里」にお邪魔しました。こどもの里にいる子どもたち、スタッフさんたち、館長の荘保共子さんにまたお会いする事ができて嬉しかったで～す＊

皆さんはこどもの里ってどんなところか知っていますか？こどもの里っていうのは～、色々な事情を抱えている子どもたちが一緒に遊び、生活をしている場所です。



そこに入って、まず感じたのは子どもたちが本当にパワフルなこと！みんな口々に「耳ちょうだい！」と言って、ポーポキの猫耳は大人気でした。そして、日本人、外国人に関わらず、「どこの人？」って積極的に話しかけてくれて、簡単に打ち解けることが出来ました。そんな子どもたちと一緒に、今回は午前中の1時間半ほどポーポキ遊びをしました。

まず、始めにポーポキこと有パンにゃんが登場して楽しくおしゃ

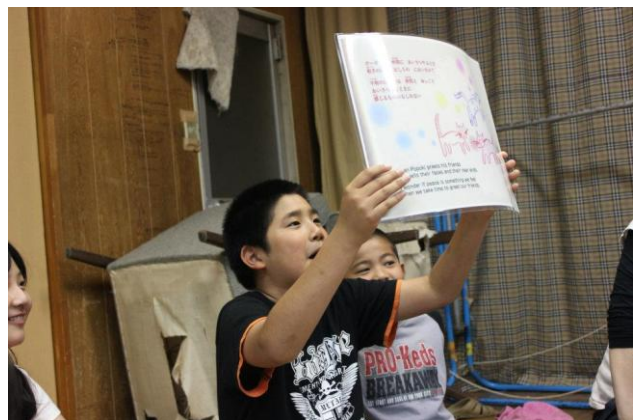
べり。そして仲良くなったところで、テツにゃん先生とタロウにゃん先生のご指導でボガタイムに入りました。お相撲さんボガはいかがでしたか？身体があたたまったところで「ハイ、イハ、ドン」というゲームで子どもたちと盛り上がりましたね。シロ～にゃん、掛け声ありがとう！そして、そこからポーポキの大好きな読み聞かせタイム！ポーポキのピース・ブックの中から3つのページを選んで、子どもたちとそれについて語り合いました。楽しかったですねえ～。

中でも私の印象に残っているのは、ピース・ブックの中の「言葉が違っていても友だちになれますか？」を読んだときのことです。初めは、「絶対無理！」

って言っていた子どもも猫語で話してみたり、留学生と話せなくて悩んでいた子どもにも「英語も、勉強したら会話出来るようになるよ。」って伝えると、最終的には「出来る！」と言ってくれました。

そして、本日のメインメニュー！参加者全員にもらったら嬉しくなるようなプレゼントをポーポキカードに描いてもらって、「ポーポキマジックボックス」に集めて一人ひとりに選んでもらいました。

みんなお花とかネコ、車それにハートと様々なものを描いてくれて、ホントにたくさんの素敵な作品ができましたね。もらった皆さんは喜んでくれたかなあ～^^





いやあ〜もう少しみんなといたかったけど…、あっという間に終わってしまいましたね。最後に子どもたちが笑顔になってくれたことは本当に嬉しかったです。ありがとうございました〜また来年ね、バイバ〜イ*

そして、今回プログラムをまとめてくれた、シローにゃん、**Suzanka** ニャン、本当にありがとうございましたー！

今回、私たちはこどもの里を訪れて、あらためてその場所のあたたかさにつけることができました。でも、残念なことは今大阪市の政策の方向性が変わってしまったことで、このこどもの里が存続の危機にあること…。ポーポキも協力して、この素敵な場所を守りたいですね。



*あなたもお手伝いできます。6月30日まで、陳情書をダウンロードしてからご記入の上、こどもの里へお送りください！
<http://www.k5.dion.ne.jp/~sato/iejigyoku.html>

〒557-0004 大阪市西成区萩之茶屋 2-3-24 こどもの里

文責: 神戸大学大学院国際協力研究科

修士課程2年 田中紗貴

修士課程1年 前田哲利

2012年5月18-19日に、私たちは宮城県の仙台市と石巻市を訪れました。今回の東北訪問の目的は、ポーポキ友情物語を実践していくこと、そして今後の実践に向けての打ち合わせでした。

1日目は仙台市の津波の被害が多かった荒浜地区を訪れました。ここでは以前荒浜地区に住んでいた、家が津波によってなくなった方に案内してもらいました。特に印象に残ったのが、津波で流された住宅の跡地に黄色いハンカチがつるされていたことです。最初わたしは、これはこの地にまた戻りたいと願う荒浜の方の想いが表されたものだと思っていました。しかし、実はこの荒浜地区へ再び住むことを禁じられたことへの抵抗の意味も含んでいると知りました。そう思うと、この黄色いハンカチからまた違ったメッセージを感じました。荒浜のあと、東北大学でボランティア活動をしている学生や先生とご飯を食べながら、今後の活動について相談しました。



2日目は石巻市の被災地や、仮設住宅を中心に訪ねました。まず、医師不足のために東北に行かれた小倉先生に、門脇地区を案内してもらいました。そこはとても印象に残る場所でした。

その後、石巻市を拠点に、被災した子どもたちの支援を行うNPO法人「にじいろクレヨン」の活動に参加させてもらいました。まず、アレキサンダー先生が子どもたちに絵本の読み聞かせをおこないました。やんちゃな子どもたちがその時はとても熱心に先生の

話に耳を傾けていました。そのあと布に自由に絵やメッセージを描いてもらいました。空想の動物を描いたり、中には足形をなぞる子もいました。みんな楽しそうに描いていました。

夕方には、仮設住宅へ行き、石巻市で被災した方にお会いしました。津波の様子や避難生活のことや、第二次世界大戦の東京空襲の体験について聞き、とても勉強になりました。そして、みんなと一緒にポガをしました。全員で輪になって手を合わせ、相手の動きに合わせて動くというエクササイズもしました。最後に体験を聞かせてくれた方が、「手が温くなったわー」と嬉しそうにっこりしていました。それを聞いて、私たちもとても温かい気持ちになりました。励ましや慰めの言葉だけでなく、人のぬくもりもとても落ち着いた幸せな気持ちにさせてくれることがこのエクササイズで再発見できました。

今回私たち2人とも、震災後の東北に行くのは初めての経験でした。2日間という短い時間でしたが、この2日間を通して出会った方々に改めて感謝の気持ちでいっぱいです。これからもこのつながりを大切にしていけたらいいなと思います。

ポーポキちゃんの簡単ポガ教室

Lesson 49

今月のポガのテーマはリラックスと顔の運動です。癒されるといいですね。



1. いつものように、背筋を伸ばし、自分を細く見せながらちゃんと座りましょう。
2. さて、足を組んで、背筋を伸ばしながら、頭の中を真っ白にしましょう！
3. 次に、顔もしっぽも右へ。そして、口で大きな「OOOO」をつくりましょう！
4. では、しっぽと顔を反対方向へ。今度は大きなスマイル！
5. できた！できたポーズをどうぞ！

お疲れ様でした。少しリラックスできましたか？毎日、深呼吸・笑・リラックス、そしてポガを最低3分間練習しましょうね。

一緒にいかが？

次回のポー会 6.28(木) 神戸 YMCA 306号室 19:00~20:50

7.7 HIV/AIDS イベント 終日 神戸市 JR 神戸駅地下デュオこうべ 11:00-16:00 ポーポキの展示・ブース・ステージ (11:30-11:45)

7.20 ポーポキ・ワークショップ Kobe-Seattle Youth Exchange 神戸 YMCA

8.6 ヒロシマの日集会 08:00-09:00 東遊園地

8.6-7「第9回多文化共生のための国際理解教育・開発教育セミナー」定員：120名。参加対象：国際理解教育・開発教育に興味のある教員または学生。会場：JICA 関西 神戸市中央区）主催：JICA 関西、他

9.15 ポーポキ and 虹色クレヨン in 石巻（予定）

10.19~ ポーポキ at Pittsburgh Children's Museum（予定）

11.10 「平和と健康」 兵庫医療大学



- R. Alexander. "Remembering Hiroshima: Bio-Politics, Popoki and Sensual Expressions of War." *International Feminist Journal of Politics*. Vol.14:2:202-222, June 2012
- 「ポーポキと一緒に作り出す平和の根底に 9 条がある」NO : 66 2012 年 5 月 12 日 [子どもと守る9条の会]
- 「布に希望 60 メートル」阿久沢悦子 『朝日新聞』 2012.1.21 (兵庫・29 面)
- 「平和祈る声まとめ本に」 斎藤雅志 『神戸新聞』 2012.1.19 (伝える 1・17 3・11、22 面)
- K. Wada. "Conversations with Ronni Alexander: The Popoki Peace Project; Popoki, What Color is Peae? Popoki, What Color is Friendship?" *International Feminist Journal of Politics* Vol.13, No.2, 2011, 257-263
- S. McLaren. "The Art of Healing"(Popoki Friendship Story Project) *Kansai Scene*. Issue 133, June 2011, p.10. kansaiscene.com
- R. Alexander. (2010) "The Popoki Peace Project: Creating New Spaces for Peace in Demenchonok, E., ed. *Philosophy after Hiroshima*. Cambridge Scholars Publishing, pp.399-418
- 「省窓」『神戸青年』 No.606 2011.1.2 p.1
- No.1 『『ポーポキ、平和って、なに色?』の背後にあるもの』(連載) とさぼりライフ第 19 号 2010.10:4
- 堀越健志「シリーズ:こくさいのまで⑤(パレスチナについて)『神戸青年』 No.604 2010.9-10
- 「みんなでやれば、何にかが変わる!」 THE YMCA No.607 June 2010, p.1
- [ヒロシマと世界: 被爆地の声 非核と平和、復興と再生、許しと命の尊厳訴え] http://www.hiroshimapeacemedia.jp/mediacenter/article.php?story=20100312140608602_ja
- 2010.3.15 中国新聞 ヒロシマ平和メディアセンター
- FM COCOLO 76.5 'Heart Lines' 2010.1.9 Interview: Ronni on Popoki in Palestine
- "Human Rights, Popoki and Bare Life." *In Factis Pax Journal of Peace Education and Social Justice* Vol.3, No.1, 2009, pp.46-63 (<http://www.infactispax.org/journal/>)
- 西出郁代 「ポーポキ、平和って、なに色? ロニー・アレキサンダーを迎えて」『PPSEAWA』(日本汎太平洋東南アジア婦人協会) No.63 2009.12, p.5.
- 「友情」第 2 号 2009.11 伊丹市国際・平和交流協会 年間事業報告 pp.1-2
- 「ともに・・・」 No.29 2010.1 家庭と保育所、学校園、地域を結ぶ在日外国人教育情報誌 ポーポキ・ピース・チャンレジ情報 p.12
- 区民情報誌「なだ」 2009.12, p.2. ポーポキ・ピース・チャレンジ情報。
- 「『ポーポキ、友情って、なに色?』」「私のいち押し」 奥田光子 THE GAIDAI 2009.7.17 No.243 (関西外大通信)
- 「友情って・・・考える絵本」 朝日新聞「生活」(阿久沢悦子) 2009.7.2
- 「友情を考えて～人間と、ねこと、そして自分と～」れ組通信 RST/ALN 2009.6.28 No. 259, p.11
- 「カティング・エッジ」第 35 号 2009.6 (北九州市立男女共同参画センター「ムーブ」)「新刊紹介: 『ポーポキ、友情って、なに色? ポーポキのピース・ブック 2』(レベッカ・ジェニスン) p.3
- 「猫を通して平和を考える 絵本の第 2 弾を出版」(斎藤雅志) 神戸新聞 2009.4.21
- 「ポーポキ、平和ってなに色?」 KOBE YMCA NEWS「神戸青年」 2009.3.1 No.593 p.2
- 「ポーポキ、ゴミってなに色?」 KOBE YMCA NEWS「神戸青年」 2009.1.1 No. 592 p.2
- 「友だちになってくれませんか?」 RST/ALN 2009.2.22
- ラジオ番組の中のポーポキ!!! プロジェクト・メンバーの宇留賀佳代子さんがラジオ番組で紹介していただきました。ぜひお聞きくださいね。 <http://www.kizzna.fm/> 録音番組をクリック。番組 CH の 6CH をクリック。
- やさしいから人なんです展パート20 実行委員会 『世界人権宣言』 ひょうご部落解放・人権研究所 2008. 10 500 円。詳しくは: blrhyg@osk3.3web.ne.jp
- 「KFAW カレッジ ロニー・アレキサンダー氏 講演会」エイジアン・ブリーズ/Asian Breeze No.54 October 2008, p.8 (アジア女性交流・研究フォーラム)
- 「ピースセミナー in 熊本 あなたにとっての「平和」とは?」 Kumamoto YMCA News 10 Vol.437 October 2008, p.1
- 神戸新聞「人権宣言 兵庫から発信 全 30 条 イラストで表現 地元ゆかり 6 名がパネル制作」 2008.10.8. 10 面
- 「社説 終戦の日」 神戸新聞 2008. 8. 15
- 中国新聞「核廃絶への視点」 2008. 7. 27 (核抑止論について・・・。3時間!?!にわたる取材で一生懸命にポーポキのことを話したのに・・・。





私にとってのポーポキ

バシール・ウディン

私がポーポキについて知ようになったのは、ポーポキ・ピース・プロジェクトが開始された2006年のことである。以来、私はポーポキのイベントに時々参加する機会を得た。私がポーポキから学び得たことは大変貴重である。ポーポキは私に、社会と人間、そしてその関係にせまる大切な問題にアイデアを与えてくれ、「なぜ、平和で幸福な生活を営む人がある一方で、そうでない人があるのか」と言った基本的な問いかけを、私の心に呼び起こしてくれたのだ。私たちはどうすれば、声にならない声を聞くことができるのか。平和と幸福をもたらすものは何か？ポーポキは、平和と幸福の存在への探求を通して、こうした問いかけへの理解を促進してくれる。私にとってポーポキとは平和のメッセンジャーであり、平和と幸福について考え、革新的な問いかけと答えから解決策を導き出すためのメッセージを運んでくれる存在なのだ。

昨年、私は調査のために、インドのいくつかの場所を訪れ、そこで性労働従事者とその子供たちに会う機会を得た。彼女たちは、現状や抱えている問題について私とディスカッションするために、貴重な時間を割いてくれた。彼女たちは、自分たちの仕事もままならないような、汚く、不潔で、狭い部屋に住んでいる。そして彼女らが働いている間、子供たちは部屋の外に行くことを強いられる。そのため、子供たちは勉強に集中することができない。子供たちの多くはNGOが運営する学校に通っているが、家では勉強に適した場所がないのだ。外で遊んでいる間、時に彼らは近所の人間によるいじめの犠牲になる。インドの性労働従事者は、子供を良い学校へ送るにも、ごくわずかな稼ぎしかない。その上、時に既存の社会環境が、性労働従事者の子供が公立の学校に入学することを受け入れないのだ。これが、社会と国から見落とされている、切実な問題である。



私が4年生・5年生の子供たちと会話した時、彼らの多くが人生に大志を抱いていることを知った。医者やナースになりたいという子もいれば、彼らがいま経験している状況を他の人が経験しないで済むよう、人を助け、教育するために、先生や音楽家になりたいという子もいる。私は彼らの生き生きとした明朗な生きがいに啓発された。彼らが平和と幸福のメッセージを社会に送る声とパワーを持っていると直観したのだ。ポーポキはまさにそれと同じである。ポーポキは、社会でなおざりにされている人々の状況に異議を申し立てるアイデアを探りながら、人々に教えている。非常に難しいことではあるが、ポーポキは、社会

や国家、人が、声なき存在や社会からなおざりにされている存在について、真剣に考えるための最初のステップなのだ。

私はポーポキに感謝し、平和と幸福について、特に世界中の声なき存在のために、より一層のメッセージを運んでくれるよう、その成功を願っている。



さらにご協力ください！



ポーポキ・ピース・プロジェクトは、『ポーポキ、平和って、なに色？ポーポキのピース・ブック1』（エピック、2007年）、『ポーポキ、友情って、なに色？ポーポキのピース・ブック2』（エピック、2009年）を題材に、全身で平和の意味を探り、一人ひとりの「発見」を平和の創造に役立てようとする小さな平和活動団体です。また、2011年に起こった東日本大震災をきっかけに活動をしており、『ポーポキ友情物語 東日本大震災で生まれた私たちの平和の旅』という本を2012年1月に発行します。2006年に設立されて以来、日本国内外で幅広く平和のためのワークショップなどの開催を続けてきました。活動の資金はすべて本の売上や寄付によって行っています。

これからも平和を考えるためのピース・ワークショップ、読み聞かせ、ピースキャンプ参加、ポーポキのピース・ブックの翻訳（『ピース・ブック1』は既に10カ国語に翻訳されている）、『ポーポキのピース・ブック3』の執筆などの活動を中心に活動が続ける予定です。定期例会「ポー会」を月に一度のペースで開催しています。一緒に活動なされたい方はぜひご参加ください。（ポー会の開催については、ポーポキ通信の「一緒にどうぞ」の蘭をご参照されたい。）

また、こういった活動に対してのご協力、ご支援をぜひお願いしたいと存じます。本の購入・寄付・本についてのコメント、感想、注文などについては、popokipeace@gmail.comへお問い合わせください。

なお、本についての問い合わせや注文は、お近くの書店、アマゾン、あるいはエピック（TEL: 078-241-7561・FAX: 078-241-1918）へどうぞ。

ポーポキ・ピース・プロジェクト [popokipeace\(at\)gmail.com](mailto:popokipeace(at)gmail.com)



<http://popoki.cruisejapan.com>

郵便振替口座番号 00920-4-280350

ゆうちょ銀行 店番099 店名099店 当座 口座番号0280350

口座名 ポーポキ・ピース・プロジェクト神戸

ポーポキ平和募金は一円 1500 円 何円でも結構です。

